

2018 年度（平成 30 年度）事業計画

社会福祉法人愛隣園

2018年度（平成30年度）事業計画(案)

1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第10章27節

2. 事業計画

- ・評議員会の開催 6月・3月・随時
- ・理事会の開催 6月・11月・3月・随時
- ・監事監査の実施 6月・随時

3. その他の事業計画

- ・役員等研修会及び懇談会 随時参加・必要に応じ開催
- ・(仮称)愛隣を支える後援会づくり

2017年度に準備予定であったが諸事情により組織することができなかった。今年度も継続課題として取り組みたい。

4. 法人の事業計画の推進について

昨年4月新社会福祉法により、評議員会・理事会等は新しい体制で再スタートした。全ての社会福祉法人には、利用される方々への質の高いサービスの提供、法人経営の効率化や基盤強化、地域社会への貢献等が求められているが、課題は多い。

今年度も、社会福祉法人愛隣園は、愛隣こども園、ガリラヤ荘、新たに開設したガリラヤ久米における乳幼児保育、高齢者福祉及び地域福祉の向上に積極的に取り組みたい。

◇愛隣園の法人経営の効率化・基盤強化のための組織づくりとして施設・人事・労務・財務等を一体的に運営管理する事務局体制を整備する。事務局にて、具体的な方法を検討、精査しその推進を図りたい。

◇愛隣こども園は、前年度より子ども・子育て支援法による「幼保連携型認定こども園」としての事業が開始された。特に新規の地域子育て支援拠点事業は、三津地区に開かれた幼児育成施設としてその充実を図りたい。

◇ガリラヤ荘及びガリラヤ久米は、より質の高いサービスの提供、地域へ社会的な貢献を意識した高齢者支援の拠点としての施設づくりを積極的に展開したい。特に利用者ひとり一人のQOLの向上、職員の育成に努力したい。又、新規開設したガリラヤ久米の安定した運営基盤の確立を図りたい。

2018年度(平成30年度)事業計画 (案)

愛隣こども園

1. 保育・教育 理念

多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育をすることで、他者と共に生きることのできる子どもに育てる。

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい。」 (聖書のことばから)

2. 保育・教育 方針

(1)「地域の人々と共に」

過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。

(2)「基本的習慣を身につけ養う」

他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を大切にすることを育てることであります。

3. 保育・教育 目標

- (1) 基本的生活習慣(しつけ)を身につけよう。
- (2) 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
- (3) 自分を豊かに表現できる子どもになろう。
- (4) 主体的に活動できる子どもになろう。

4. 年齢区分別保育・教育目標

- | | |
|-----------|---|
| 乳児 | ▶ 愛着関係を築き、食事・睡眠・排泄のリズムを整え安心して生活する。 |
| 1歳以上3歳未満児 | ▶ 自分でやってみようという思いを大切に、「できた」という喜びを積み重ねる。 |
| 3歳児 | ▶ 身のまわりのことが、一人でできるようになる。友だちとの関わりの楽しさを味わう。 |
| 4・5歳児 | ▶ やってみようという思い、自分を表現する力を身につける。友だちと協力し合って一つのことをやりとげる喜びを味わう。 |

5. 乳幼児利用予定数

認定区分	3号認定 (保育認定)			2号認定 (保育認定)			1号認定 (教育標準時間認定)			
	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	66名	3名	6名	12名	13名	13名	13名	2名	2名	2名
4月予定数	74名	3名	12名	16名	13名	13名	12名	5名	0名	0名

(参考)

認定区分	3号認定 (保育認定)			2号認定 (保育認定)			1号認定 (教育標準時間認定)			
	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児
29年度末人数 計73名		8名	14名	12名	13名	12名	14名	0名	0名	0名

6. 職員数

(4月1日予定)

	園長	主幹 保育教諭	保育教諭	保育士	調理員	事務員	計
正規職員	1名	1名	11名		2名		15名
臨時職員			5名	1名	1名	1名	8名
パート職員			2名				2名
計	1名	1名	18名	1名	3名	1名	25名

※嘱託の園医1名・園歯科医1名・園薬剤師1名

7. 地域子育て支援拠点事業

平成29年度より松山市の委託を受けて、地域子育て支援拠点事業を開始し30年度も引き続き行う。地域子育て支援拠点事業とは、地域で子育てを支えるため、当事者相互の交流を図り、子育ての不安や悩みを相談し、助言や援助を受けられる場所を設定する事業をいう。

核家族化や地域のつながりが希薄化したため、とくに乳幼児の子育てが孤立化する傾向が強まっている。子育て中で外出機会の少ない保護者の身近な場所で、孤独感や不安を緩和し、子どもの健やかな成長を支援することが目的である。

地域子育て支援拠点事業の主な活動予定

主な活動	内 容	
施設の開放	月～金 10:00～15:00 地域交流室・ホールの一部 園庭を開放	
育児相談	電話、来園時等、担当や主幹保育教諭、園長等が様々な相談に応じる。	
育児講座の開催	季節の製作、給食の試食会、遠足等企画して月に2回程度行う。	
情報提供	行政・医療機関、遊び場やイベントの情報、近隣の保育園・幼稚園等の情報また、当園の一時保育の紹介や給食のレシピを配布する。	
絵本の貸出	絵本や育児、離乳食等の本の貸出を行う。	
あかちゃん広場	0歳児を対象にした遊び等の提供、育児の情報交換 親子同士での友だち作りや遊び等の提供	三津浜・高浜公民館 で月各1回ずつ開催
親子ふれあい広場		

※ あかちゃん広場、親子ふれあい広場は、30年度より、味生保育園から引継ぐ活動

8. 一時預かり事業

保護者が仕事、介護、病気、通院をはじめ、学校・幼稚園の行事、子育てに疲れた時、美容室や習い事等リフレッシュも考慮し、子どもにとっても保護者にとっても心の拠りどころとなるようにする。

年齢 1歳から就学前まで

時間 8:30 ～ 17:00

料金 日額 1,500円(給食代・おやつ代含む)

一日の定員 12名程度

9. 延長保育事業

保護者の就労形態の多様化、通勤時間に合わせて保護者が安心して子育てができるよう対応する。子どもの年齢、生活のリズムや心身の状態に合わせ職員の協力体制、家庭との連携、保育の内容や方法にも十分配慮して行う。少人数の保育になるので、一人ひとりにゆとりと関わり、家庭的な雰囲気保育する。

時間 18:00 ～ 19:00

料金 月額 2,500円

日額 260円

※ おやつ代含む

10. 療育支援、障がい児保育

発達のゆるやかな子どもや丁寧な配慮が必要な子どもの育ちについて担任だけでなく、職員が正しい知識を学び、受け入れ態勢を整える。くろみ園をはじめ専門機関との連携をとり、発達にあった関わりを指導してもらったり、職員と話し合う機会をもってもらおう。就学前の教育相談が必要な場合も保護者と相談し、その子にとって最善の教育が受けられるよう小学校、教育委員会とも連携をとる。

11. 職員の資質の向上

- ・30年度より「幼保連携型認定こども園教育保育要領」の改訂にあたり全体的な計画をはじめ各指導計画(長期・短期・個人別)の見直し、作成をリーダーを中心とし、全職員で行う。
- ・中堅職員をそれぞれ分野別リーダーに任命し、園の中での位置付けを明確にする。
- ・リーダーは、処遇改善の一環として示されているキャリアアップ研修に参加させ知識、技術の習得を促す。
- ・資質向上計画を基に、松山市保育会・県、全国の保育協議会や社会福祉協議会が主催する各種研修会やキリスト教保育所同盟の研修会、子ども子育て連絡協議会の研修等に積極的・計画的に参加する。研修会報告や学んだことを日々の保育・教育に活かすことで他の職員と学びを共有する。

12. 食育

- ・イベント的な食育ではなく、日々、ランチルームで給食を食べる中、調理員の仕事を知り感謝の気持ちをもつことができる。
- ・野菜栽培やクッキングを通し旬の味を感じ、季節や食べ物の興味を持つ。
- ・調理員と保育教諭と連携をとりながら、日常の保育・教育の中に食育を意識した活動を取り入れる。また、行事食や郷土料理を給食の中に取り入れ、関心をもつことができるようにする。
- ・地産地消を心がける。

13. 地域との連携

- ・地域に園の行事等の案内をしたり、地域の行事にもできるだけ参加する。
- ・小学校と連携をとり交流活動に参加したり、中・高生の職場体験、また養成校の実習生を積極的に受け入れたりする。
- ・地域の高齢者やガリラヤ荘、ガリラヤ久米の高齢者との交流を行う。

14. 年間行事計画(案)

月	主な行事	その他	月	主な行事	その他
4月	入園式	尿検査 内科・歯科検診	10月	運動会	三津浜中学生職場体験
5月	歓迎遠足	家庭訪問	11月	感謝祭 秋の遠足	内科・歯科検診
6月	保育・教育参観 花の日	給食嗜好調査 東雲大学実習生受け入れ	12月	クリスマス祝会	三津浜小学校生との交流
7月	プール開き 海水浴(ごご島)		1月	もちつき大会	
8月	マーチングバンド見学 (大洗高校)	愛媛県西中等教育 学校 保育体験	2月	お別れ遠足	防災センター見学 (年長・年中児)
9月	敬老参観日		3月	遊戯会・卒園式	新入園児面接

※ 毎月1回…誕生日会

※ 毎月1回…避難訓練

※ ガリラヤ荘、ガリラヤ久米の高齢者との交流は未定

1.運営理念

『 今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする 』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
 II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
 III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
 IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》平穏ケア(トータルケア)の構築
 《2》安心と信頼ある地域密着の施設創り
 《3》人材育成と安定した施設運営の基盤整備

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I IV	《1》	命と尊厳を守り 安心して生活 できる施設づくり	① 職員の基礎介護力を高め、多職種協働によるトータルケアの実践(実践事例発表会の実施) ② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底。 ③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底。(集団発生0件目標)
2	II II	《1》《2》	在宅生活継続 の支援	① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進。 ② 社会福祉資源として、地域活動の推進(おとこ塾・地域サロンへの出前講座等) ③ 在宅生活をトータル的にサポートするために在宅部門の連携。(トータルケアの実践)
3	III	《2》《3》	地域・広報活動 の充実	① ホームページ・ブログ等による情報発信と、新パンフレットの作成。 ② 幼・保育園・学校との交流と、住民ボランティアの積極的受入れ(地域住民防災組織との連携)
4	IV	《3》	やりがいを感じ 働きやすい 職場づくり	① スタッフ心得の徹底(えがお大賞実施)と、職員育成の推進 ② リフレッシュ休暇の計画的取得とストレスマネジメント対応(ストレスチェック実施)
5		《3》	安定運営の 確保	① 各事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。 ② 施設運営に関わる財務・組織・事業管理等を再編し、基盤の整備と強化を図る。

事業所名(部署) 特別養護老人ホーム・短期入所

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活の支援 …… 「食と排泄」ケアの充実 『目標稼働率(特養)97%、(短期)90%』
- 《2》利用者がうらおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア …… HOL(happiness of life)の提供 『イベント企画と環境整備』
- 《3》利用者の重度化に対応する研修及びチームケアの定着 …… 研修運営と多職種協働システム

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》	トータルケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 多職種協働における専門的ケアを以て、誤嚥性肺炎による入院を予防する。 『目標:誤嚥性肺炎(8名以下)、尿路感染症(0名)、総延入院日数870日以内』 ◇ 経口維持、移行のため多職種によるミールラウンド、カンファレンスを行い、最期まで口から食べることができるケアを提供する。 ◇ 排泄の原因等についてアセスメントを行い、計画に基づく支援を提供し、排泄ケアの向上を目指す。 ◇ トイレでの排泄支援を目的としたケア向上を目指し、オムツ使用者の減少につなげるケアを確立する。 ◇ 感染症発生0を目指し、平常時から感染予防に努める。 <p>相談部門(特養)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ トータルケアや看とりについて、家族・地域へ情報発信し、理解、協力を得ることで取組の促進を図り、施設での穏やかな暮らしのサポートを行う。 <p>(短期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 総合記録シートを活用し、多職種で情報を共有し検討を行うことにより、最後まで安心して在宅生活を送れるよう支援する。 <p>介護部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠ある丁寧なケアを実施し、穏やかな暮らしの支援を目指す。 ◇ 多職種との連携を図り、総合的な支援(食事・運動)を行いながら排泄用具を含め、より専門的な排泄ケアを目指す。 <p>看護部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ トイレでの排泄を目的とした自然排便につながる支援を継続する。 ◇ 塩類下剤の使用量の減少を目指す。『目標:定期塩類下剤利用率72%⇒50%』

			<ul style="list-style-type: none"> ◇ 美味しく・楽しめる・体にやさしい食事を目指し、軟らか食・ソフト食の質、見た目の向上に努める。 ◇ 玄米ご飯等、食物繊維の多い食事を提供し、自然排便の促進に努める。 ◇ 心身機能の維持・向上とトイレでの排泄につながる支援を目指す。 ◇ アンカーサポート、バックサポート等を適切に使用し、適切なポジショニングを行う。 ◇ 口腔ケア(リハビリ)の周知徹底を目指す。 	<p>栄養部門</p> <p>機能訓練部門</p>
2	I II III	《2》	<ul style="list-style-type: none"> ◇ イベント企画 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 利用者の笑顔につながるイベント企画をユニット単位で実践する。また個別支援(外出・外泊)の提案・実践を目指す。 ◇ 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。
3	I	《2》	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制、備品整備・環境美化係による実践)
4	IV	《3》	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 研修運営 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 基礎介護勉強会、上級介護勉強会の実施。エルダー制による職員育成を目指す。 ◇ リーダー対象勉強会の実施。リーダーを育成しリーダーを中心としたユニットの職員連携、ケアの向上を目指す。 ◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。
5	I IV	《3》	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 多職種協働システム 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 総合記録シートに基づいた記録を作成し、利用者の状態・状況把握を継続する。 ◇ オペレーションシート(業務一覧表)を継続し、シートを活用したチームケアの定着を目指す。 ◇ 朝礼での適切な指示、部長・課長・主任・リーダーによる状態・状況のダブルチェック体制、各会議との運動を継続し、利用者一人ひとりへのケアの見直し、評価ができる体制整備を継続する。 ◇ アセスメントチェックシートを継続し、多職種での情報共有ツールとして、ケアの統一を目指す。 ◇ カンファレンス(認知症カンファレンス、ミールラウンド等)の充実を図り、多職種協働で利用者の状態悪化を予防する。
6	II III	《2》	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 災害・防犯対策 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 防犯体制のチェック、見直し及び研修を実施することで、安心して生活できる施設づくりを行う。 ◇ 地震等の災害や火事発生等の非常時における訓練を実施するとともに、地域との協力体制の構築を目指す。

事業所名(部署) 通所介護

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを旨とする。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを旨とする。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを旨とする。

3.重点目標

- 《1》個別ケアとサービスの充実
- 《2》家族・地域の住民・各事業所等との連携
- 《3》施設内・外の研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図る

『目標登録平均人数：90名』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I・II	《1》	個別ケアの実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 在宅版総合記録シートを活用。情報の共有による個々の体調管理をサポート、きめ細やかなサービス提供を目指す。 ② HOL(happiness of life)の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。 ③ マシントレーニングを実施し、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。 ④ 認知症の方が役割を持ち、穏やかに過ごすことができるように寄り添った支援をする。
2	II・III	《2》	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域サロン等へ参加し、地域住民との関係を深める。 ② 突合や意見交換会などへの参加による介護・医療連携を図る。 ③ ホランティアの受け入れや地域(保育園・学校等)、家族(家族会等)との交流を増やす。
3	IV	《3》	職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ① 運動器機能向上の為に勉強会を定期的に実施し、職員のスキルアップを図る。 ② 施設内・外研修へ参加し、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す ③ 業務内容の見直し。(職務分担や記録システムの改善等)
4		《2》	安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月の実績に関心を持ち、車輦や備品管理等のコスト意識を高める。 ② 広告や行事予定表の充実を図り、広報活動を通じて新規利用者の獲得を行う。 ③ 安定した運営のためにコスト意識を持ち、新たな加算取得を目指す。

1.運営理念
『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針
I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。
3.重点目標
『目標人数：支援:26名 介護:105名 訪問調査:6件/月』
《1》在宅高齢者に対し、健康管理や介護に必要な情報の提供を集団的又は個別的行い、健康リスクの軽減を図る
《2》事業所内の研修や事例検討、外部研修等を通じてケアマネジメントの技術向上を図る
《3》地域と関わる機会を通じて施設や制度、サービスの周知を図り、地域全体のネットワークづくりを行う

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II	《1》 《2》 《3》	在宅生活の維持	① トータルケアアセスメントシートを活用することで個々の生活を具体的に把握し、自宅で安心して生活できるためのプランの立案やサービス事業所との連携を図る。 ② 総合支援事業を積極的に啓発し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。 ③ 制度改正に対して円滑に対応し、適切なマネジメントや事務処理を徹底する。
2	I IV	《2》 《3》	資質の向上	① 事業所内・外の研修及び介護支援専門員による会議への同席や事例検討により、マネジメントの実践力を高め、在宅生活に必要な知識向上を目指す。 ② 介護支援専門員の対応及び提供内容の満足度のアンケートを実施し、集計・分析を通じて資質の向上に活かす。 ③ 地域ケア会議への積極的な参加や事例提出を行い、地域全体の課題の表出や問題の提起に努める。
3	II III	《1》	地域活動への参加	① 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。 ② 家族介護者の支援(おとこ塾等)及び、地域支援活動の推進(サロンへの出前講座等)において病气や介護の情報を発信し、介護予防の必要性や地域を支える互助の大切さを伝える。

事業所名(部署) 訪問介護(障がいを含む)

1.運営理念
『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針
I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標
《1》地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤を整備する。 『目標人数(登録者): 要支援・要介護:50名/月
障がい:10名/月』
《2》施設内・外研修に参加し、ホームヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る。
《3》効率的・安定的な事業所運営の基盤を整備する。

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》 《3》	利用者・家族・地域との交流促進	①利用者だけでなく家族との交流も深め、問題の把握に努める。 ②在宅部門と連携し、おとこ塾・地域サロン等に参加・交流する ③地域と連携して、地域包括ケアの促進を目指す ④介護ネット東温への参加による地域ネットワークの構築
2	I IV	《1》 《2》	専門性と介護技術の向上	①身体介護を中心としたサービスへの移行に伴う、ホームヘルパーのスキルアップを図る。 ②在宅版総合記録シートを活用し、各職種との連携を図り、在宅生活をサポートする。 ③勉強会を通してヘルパーの基礎介護力を高め、資質の向上を図る。 ④毎月のヘルパー会において情報共有し、利用者が安心して在宅生活が送れるための改善点の検討を行う。
3		《3》	安定運営の確保	①毎月の実績に関心を持ち、コスト意識を高める。 ②介護支援専門員と連携し、広報活動を行い、新規利用者を増やす。

平成30年度 行事計画 「施設部門」 (案)

上半期

施設 (内部)		施設 (外部)	
4	永眠者記念会	森区清掃	松山城南高校 (介護福祉) 4/16-4/27
5	遠足 ワックス掛け (全館)	花の日訪問 (東雲幼稚園・城南高等学校) 東温市防火管理者連絡協議会役員会総会	愛媛大学医学部看護科 (体験) (予定)
6	【防災】 総合訓練 (南方東自主防災会合同)	花の日訪問 (東雲中学校・川上教会) 愛隣保育園芋の苗つけ	河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 6/25-7/20
7	【防災】 東温市防災センター (煙避難・地震体験)	サマーボランティア受付～9月 夏休み福祉の仕事1日体験 (職場体験学習) 受入 東温高校奉仕活動	河原医療福祉専門学校 (介護福祉) -7/20 東温高校 (介初任実習) 7/25-7/28 松山城南高校 (介護福祉) 7/30-8/3
8	入居者レントゲン検診 【防災】 普通救命講習 (I)	しあわせのつどい (国際ホテル) 夏休み福祉の仕事1日体験反省報告会 観月祭花火観賞	聖カタリナ大学 (社会福祉) 8/4-9/20 松山東雲女子大学 (社会福祉) 8/17-9/19 聖カタリナ大学 (介護福祉) 8/9-9/5 松山城南高校 (介護福祉) 8/6-8/10 松山城南高校 (介護福祉) 8/6-8/20
9	東温市長一日施設長就任・赤ちやんこ贈呈式	地域運動会参加 東温市文化祭打ち合わせ 他施設夏祭り参加	聖カタリナ大学 (社会福祉) -9/20 松山東雲女子大学 (社会福祉) -9/19 聖カタリナ大学 (介護福祉) -9/5 河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 9/24-10/26 河原医療大学校 (老年看護学実習) 愛媛大学医学部 (介護体験)

平成30年度 行事計画 「施設部門」 (案)

下半年

月	施設(内部)	施設(外部)	各実習受人(予定)
10	秋祭り(森地区/松瀬川地区獅子舞) 運動会 つり外出		河原医療福祉専門学校(介護福祉) 10/26 松山城南高校(介護福祉) 10/30-11/19 愛媛大学医学部看護科(老年看護学実習)
11	ガリラヤ荘感謝祭 ワックス掛け(廊下・共用スペース) 【防犯】防犯訓練	収穫感謝訪問(松山城南高等学校・東雲幼稚園) 愛隣保育園芋掘り 東温市文化祭出展・見学	河原医療福祉専門学校(介護福祉) 11/5-11/23 松山城南高校(介護福祉) ①11/5-11/10②11/12-11/16 愛媛大学医学部(老年看護学実習)
12	クリスマス会 忘年会 【防災】水害避難・夜間想定消防訓練 【防災】シエイクアウトえひめ	東温市歳末施設訪問(共同募金) ウィンターボランティア受入～1月 川上教会クリスマス訪問	
1	新年会		松山城南高校(介護福祉) 1/21-1/25
2			聖カタリナ大学(介護福祉) 2/14-3/13 松山大学(社会福祉) 2/1-3/9
3	家族会総会	消防出初式	聖カタリナ大学(介護福祉) -3/13 松山大学(社会福祉) -3/9
予定	各食事会・喫茶 食事作り・おやつ作り 屋外散歩・シヨッピング 映画鑑賞 等 クラブ・レクリエーション活動 俳句会・・・第4水曜日 陶芸クラブ…第1・第3水曜日 音楽クラブ…週1回 風船バレー…週1回 習字の会…第2水曜日 縫布クラブ…第1火曜日	ボランティア等受入 ともしび会(奉仕) 介護相談員(傾聴・相談)…毎月 紙芝居ボランティア(余暇)…月2回 トーンチャイムレインボー(余暇)…年4回 オカリナーそよ風(余暇)…年4回 笑顔に会いたい(傾聴)…毎月 喫茶ペリーベリー…年6回	毎月 入居者体重測定 入居者誕生昼食会 ケアカンファレンス ミーラウンド 研修各種 委員会各種 会議各種 職員健康診断(年1回) 介護職(夜勤者)健康診断(年1回)

平成30年度 行事計画 「デイサービス部門」 (案)

上半期

月	デイサービス (内部)	デイサービス (外部)	各実習受入 (予定)
4	お花見ドライブ ぼたん見物		松山城南高校 (介護福祉) 4/16--4/27
5	こいのぼり見物 さつき見物		愛媛大学医学部看護科 (体験) (予定) 松山東雲短期大学 (介護福祉) 5/23--6/10
6	あじさい見物 【防災】総合訓練 (南方東自主防災会合同)	愛隣保育園芋の苗つけ	河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 6/13--7/8 松山東雲短期大学-6/10
7	そうめん流し外出 【防災】東温市防災センター (煙避難・地震体験)	サマーボランティア受付~9月 夏休み福祉の仕事1日体験 (職場体験学習) 受入 東温高校奉仕活動	河原医療福祉専門学校 (介護福祉) -7/8 東温高校 (介初任実習) 7/26--7/27 松山城南高校 (介護福祉) 7/25--8/5
8	デイ夏祭り 【防災】普通救命講習 (I)	夏休み福祉の仕事1日体験反省報告会	聖カトリナ大学 (社会福祉) 8/5--9/6 松山東雲女子大学 (社会福祉) 8/17--9/16 聖カトリナ大学 (介護福祉) 8/11--9/7 松山城南高校 (介護福祉) 8/8--8/22 松山城南高校 (介護福祉) -8/5
9	東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式 運動会 ぶどう狩り外出	東温高校運動会見物 東温市意見交換会 東温市文化祭打合せ	聖カトリナ大学 (社会福祉) -9/6 松山東雲女子大学 (社会福祉) -9/16 河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 9/12--9/30 河原医療大学 (老年看護学実習) 愛媛大学医学部 (介護体験)

平成30年度 行事計画 「デイサービス部門」 (案)

下半期

月	デイサービス (内部)	デイサービス (外部)	各実習受入 (予定)
10	デイ運動会 【防災】消防訓練 (夜間の通報・非常招集)		河原医療福祉専門学校 (介護福祉) 10/17-11/18 松山城南高校 (介護福祉) ①10/31-11/18②10/31-11/11 愛媛大学医学部看護科 (老年看護学実習)
11	ガリラヤ荘感謝祭 紅葉狩り 銀杏並木見物	東温市文化祭出展・見学 愛隣保育園芋掘り 川上小学校交流会	河原医療福祉専門学校 (介護福祉) -11/18 松山城南高校 (介護福祉) ①-11/18②-11/11 愛媛大学医学部 (老年看護学実習)
12	デイクリスマス会 忘年会 もちつき	川内保育園 (おゆうぎ会) ウィンターポランテニア受入～ 1月	
1	初詣 新年会		松山城南高校 (介護福祉) 1/23-1/27
2	節分 (豆まき)		聖カトリナ大学 (介護福祉) 2/13-3/10 松山大学 (社会福祉) 2/3-3/2
3	梅見物 菜の花畑見物 いちご狩り外出	川内保育園 (おひなまつり会) 川上幼稚園交流会	聖カトリナ大学 (介護福祉) -3/10 松山大学 (社会福祉) -3/2
4	陶芸・・・隔週水曜 歌声広場・・・年2回 紙芝居・・・月1回 手工芸・・・年4回 三味線・・・月2回 和太鼓・・・年1回 シヤンソン・・・隔月 ねむの会・・・年1回 琴演奏会・・・月1回 トーンチャイム・・・隔月 健康講座・・・月1回 傾聴ボランティア・・・隔月第4金曜 フラダンス・・・不定期 カラオケ・・・不定期 日本舞踊・・・不定期 ギター演奏・・・不定期	毎月 ・利用者体重測定 ・ガリラヤフットネス ・デイ会前会 (デイ会前) ・デイ会 (第3月曜) ・各種委員会 (毎週火曜) ・突合 ・おやつハイキング ・イベント食 ・外食 (月2回) ・隻手薬師参拝 (毎月12日) ・季節ドライブ ・請求業務 ・レジオネラ菌検査 (3か月毎) ・縫布クラブ (第1火曜日)	職員健康診断 (年1回) 職員業務評価 (年2回) 自己点検 (年度末) 基礎介護勉強会 上級介護勉強会 職員会 (年4回)

平成30年度 研修計画

研修項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外部研修 (全体)												
各資格取得試験 (全体)												

研修項目	対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内部研修 (全体) (各部門)		回数 2	2	3	3	3	3	2	3	3	2	2	2
基礎介護	全職種 3回受講講座	内容 6回×1 (60m)	担当 移業 リーダー/サブ	移業 リーダー/サブ	食事 リーダー/サブ	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	排洩 リーダー/サブ	認知症 リーダー/サブ	排洩委員 リーダー/サブ	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	入浴/褥瘡 リーダー/サブ
上級介護 (介護の知識 50)	全職種 基礎介護3回受講講座	内容 6回×1 (60m)	担当 移業 リーダー/サブ	移業 リーダー/サブ	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	排洩 リーダー/サブ	認知症 リーダー/サブ	排洩委員 リーダー/サブ	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	入浴/褥瘡 リーダー/サブ
リーダー対象 勉強会	リーダー サブリーダー	内容 6回×1 (60m)	担当	移業 リーダー/サブ	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	排洩 リーダー/サブ	認知症 リーダー/サブ	排洩委員 リーダー/サブ	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	介護50 生活支援部 部長/課長/主任	入浴/褥瘡 リーダー/サブ

※リーダー会終了後に実施 担当：生活支援部 部長/課長/主任

※希望に合わせて。 ※) 介護福祉士は基礎研修受講必須。

各試験対策講座	内容 **	担当											
排洩ケア勉強会 (菅原先生)	**	担当											
トータルケア研修 (泉田先生)	不定期 (終日)	担当											
口腔	2回×2 (60m)	担当											
事故防止	2回 (60m)	担当											
身体拘束虐待防止	2回 (60m)	担当											
タミーナルケア	2回 (60m)	担当											
介護職医行為 フォローアップ研修	1回×1 (60m)	担当											
衛生管理	2回 (60m)	担当											
接遇	1回 (60m)	担当											
職員会議	5回 (60-120m)	担当											
防災・救命	**	担当											
デイ研修	内容 担当												
居宅・支援研修	内容 担当												

外部： 地域包括在宅介護支援センター協賛会・東温市ケアマネ勉強会等

平成30年度 会議・委員会

＜平成30年4月～平成31年3月末＞

全 議 名	開 催 日	時 間	参 加 者	内 容
運営会議 (部長/課長)	第3火曜	15:00～	理事長/施設長/各部長/各課長 各部署連絡・報告	ガリラヤ荘における業務に関する話し合い(提案・実施状況)
職員会議	6月・9月 12月・3月・他	18:00～	全 職 員	施設運営に関する職員間の情報の共有。職員研修

【会議】《部門》

部門	会 議 名	開 催 日	時 間	責 任 者	参 加 者	内 容
特養 短期	ケアカンファレンス (サービス担当者会議)	第1週	(終日)	施設ケアマネ	各担当ケアマネ/部長/課長/主任/管理栄養士/機能訓練指導員	各計画検討(介護・栄養・機能)
	主任/リーダー会	第2水曜	16:00～	生活支援部 部長	部長/課長/主任/副主任/リーダー/サプリーダー/相談員/管理栄養士/ST等	実習受入推進委員会 口腔ケア検討会を兼ねる
	ユニット会議	第4.5週	随時調整	ユニット リーダー	ユニットリーダー/サプリーダー/ユニットスタッフ 他(必要に応じて課長/主任(補)等)	ユニットにおけるケアの検討・確認
	ダブルチェック (ミニカンファレンス)	毎週火曜	随時調整	生活支援部 部長/課長/主任	部長/課長/主任/相談員/管理栄養士/ST 等	前週のケアの検討・確認
	ケースカンファレンス (各困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部 部長/課長/主任	各事例に合わせて	認知症等困難事例 入・退院搬送等
デイ	ミーラウンド (食事困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部 部長/課長/主任	各事例に合わせて	食事困難事例のラウンドおよび検討
	デイ 会	第4週	17:30～	デイサービス 主任	主任/副主任/デイサービススタッフ 他(必要に応じて部長/課長等)	デイサービスにおける業務・事例検討 職員研修
	デイ定例会	第3火曜	14:30～	在宅支援部 部長	施設長/各部長/各課長/ディ主任/ディ副主任	デイサービスにおける業務に関する 話し合い
	ヘルパー会	毎月末	18:00～	サービス担当 責任者	サービス担当責任者/ホームヘルパー 他(必要に応じて部長/課長等)	訪問介護における業務・事例検討 職員研修
居宅 支援	通 例 会	毎水曜	9:15～	居宅主任	居宅主任/居宅ケアマネ 他(必要に応じて部長/課長)	多職種協働による事例検討
	東温市地域ケア会議	**	**	**	(主催:東温市包括支援センター)	介護保険関係情報、介護用品紹介等
	介種ネットワーク東温	**	**	**	(主催:東温市保険年金課) (事務局:東温市社会福祉協議会) ※在宅支援部門含む	地域高齢者の情報交換、連絡事項伝達 事業者間サービス実証確認、情報確認 研修、親睦会

【委員会】

部門	会 議 名	開 催 日	時 間	責 任 者	参 加 者	内 容
全 体	褥瘡予防委員会	毎月第2火曜	16:30～	生活支援部 部長/課長/主任	褥瘡予防の研修と予防・対応の検討	
	衛生管理委員会 (メンタルヘルス委員会)	毎月第2火曜	16:00～	生活支援部 部長/課長/主任	感染予防の研修と発症時の対応と報告	
	身体拘束虐待防止委員会	毎月第3火曜	16:00～	生活支援部 部長/課長/主任	生活支援部 部長/課長/主任、各ユニット担当者	身体拘束・虐待防止の研修と事例検討
	事故防止委員会	毎月第4火曜	16:00～	生活支援部 部長/課長/主任	事故報告の検討と再発防止対策	
	栄養/給食委員会	毎月第4月曜	16:00～	管理栄養士	委託先業者を交えての給食に関する報告と検討	
特養	人権擁護並びに苦情相談委員会	年1回以上	随時調整	理事長	理事長/施設長/各部長/各課長/各主任	利用者の権利擁護及び苦情申出に対し公正かつ適正に解決することを目的とする
	防火管理(消防/防犯訓練他)	年間5回	随時調整	防火管理者	全職員	救命講習と防犯訓練、消防訓練の計画・実施
	在宅委員会	毎月第3火曜	15:00～	在宅支援部 部長/課長	理事長/施設長/在宅支援課部長・課長・主任	在宅居宅総合記録シートへの導入、困難事例の検討、 おとこ塾・出前講座の企画及び調整
入所判定委員会	毎月末	17:30～	生活支援部 部長/相談員	施設長/生活支援課部長・課長・相談員・介護主任・機能訓練指導員・外部委員2名	特養入所判定基準に基づく入所者の検討	

1.運営理念

『 今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする 』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

《1》平穏ケア(トータルケア[※])を暮らしの基本としたケアシステムの構築 [※]全国高齢者ケア研究会が提唱する考え方及びシステム
 《2》地域との連携・関係を大切とした、安心と信頼ある施設創り
 《3》専門職としての人材育成強化と、安定した施設運営の基盤整備

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I IV	《1》	命と尊厳を守り 安心して生活 できるケア構築	① 専門職として基礎介護力を高め、多職種連携による、生活支援の提供を行う。 ② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止を徹底する。(身体拘束0件目標) ③ インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症拡大防止に努める。(集団発生0件目標)
2	II III	《1》《2》	地域福祉の確立	① 地域での福祉拠点を目指し、関係機関と連携・地域の福祉ニーズを捉えた取り組みを実現する。 ② 地域行事への参加、学校、保育関係機関との連携など、積極的に関わる機会を設ける。 ③ 在宅生活をトータル的にサポートするため、システムの整備を行う。
3	III	《2》《3》	広報活動の充実	① ホームページ、SNSを活用した情報発信やデータ収集・分析を行い、必要な情報をより有効に利用できる環境を整備する。 ② イベントの企画・運営、ボランティア活動や関係機関の見学等の受入など計画的に実施する。
4	IV	《3》	やりがいを感じ 働きやすい 職場づくり	① ガリラヤ米スタッフ心得を常に意識した接遇に努め、運営理念に基づいた専門職を育成する。 ② 離職を防ぎ、定着することができるよう、きめ細やかな研修やフォローアップ体制の強化を実践する。 ③ スタッフの育成とともに、適正な人事考課を図り、スキルアップへの機会を設ける。
5	I II III IV V	《1》《2》《3》	安定運営の 確保	① 事業所の年間目標数値の達成とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。 ② 事業運営に関わる財務・組織・管理における基盤の整備を図る。

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》 平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
 - 《2》 利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア(ハピネスオブライフ)の確立
 - 《3》 利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立
- 『目標稼働率(特養)93%、(短期)85%』
『イベント企画と環境整備』
『研修運営と多職種協働システム』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》	トータルケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。 ◇ BPSDの悪化につながら、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。
2	I II III	《2》	イベント企画	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 利用者の笑顔につながるイベント企画をユニット単位で実践する。 ◇ 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。
3	I	《2》	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制・備品整備・環境美化による実践) ◇ 中重度の利用者が生活しやすい、安全な環境整備を行う。
4	IV	《3》	研修運営	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。 ◇ 特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。
5	I IV	《3》	多職種協働システム	<ul style="list-style-type: none"> ◇ アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築 ◇ オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。

事業所名(部署) 認知症対応型老人共同生活援助

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》 平穏ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
- 《2》 利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア(ハピネスオブライフ)の確立
- 《3》 利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立

- 『目標稼働率(GH)94%』
- 『イベント企画と環境整備』
- 『研修運営と多職種協働システム』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》	トータルケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。 BPSDの悪化につながらず、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。
2	I II III	《2》	イベント企画	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 積極的な外出支援、地域行事に参加ができる体制づくり。 家族への働きかけ、またボランティア受入れの企画と実践を目指す。
3	I	《2》	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 穏やかに暮らすことができるよう、居室の環境整備を行う。(居室担当制・備品整備・環境美化による実践) 生活場面において自立を支援する働きかけから、認知症予防につながる環境づくりを行う。(食堂、リビングでの共同作業)
4	IV	《3》	研修運営	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。 特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。
5	I IV	《3》	多職種協働システム	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築 オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。

1.運営理念

『 今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする 』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを旨とする。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを旨とする。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを旨とする。

3.重点目標

- 《1》個別ケアとサービスの充実
- 《2》家族・地域の住民・各事業所等との連携
- 《3》施設内・外の研修へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図る

『目標人数 :14名 /日』
(要支援4名/日、要介護10名/日)

※)前年度比より平均とし、登録者増によつて、定員変更(18名)を検討する。

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I・II	《1》	個別ケアの実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 居宅生活アセスメント及び体力測定を実施し情報の共有を行い、きめ細かなサービス提供を目指す。 ② HOL (happiness of life)の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。 ③ マシントレーニングを含む個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。
2	II・III	《2》	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。 ② ボランティアの受入れや地域(保育園・学校等)、家族との交流を増やす。 ③ 地域との交流を行い、地域の行事等へ積極的に参加する。
3	IV	《3》	職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ① 総合事業の研修への参加、及び事業所内での勉強会の充実を図る。 ② 施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。 ③ 職員の適材適所を図り、職務分担を行う。
4		《2》	安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月の実績に関心を持ち、車輛管理等のコスト意識を高める。 ② 介護支援専門員と連携し、広報活動を行い新規利用者の発掘を行う。 ③ 安定した運営のために、管理及びコスト意識を持つ。

事業所名(部署) 居宅介護支援 ガリラヤク米

1.運営理念

『今、ここで生きている
人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》在宅高齢者に対し、健康管理や介護に必要な情報の提供を個別的に行い、健康リスクの軽減を図る
- 《2》事業所内の研修や事例検討、実地演習及び外部研修等を通じてケアマネジメントの技術向上を図る
- 《3》地域と関わる機会を通じて施設や福祉の周知を図り、地域全体のネットワークづくりを行う

4.重点目標に対する取り組み

『目標人数：支援：16名 介護：60名』

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II	《1》 《2》 《3》	在宅生活の維持	<ul style="list-style-type: none"> ① 在宅版総合記録シートやアセスメント表を活用し、自宅で安心して生活できるためのトータルケアを、サービス事業所と協働して行う。 ② 総合事業を理解し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。 ③ 地域包括支援センター等が主催する勉強会や地域活動の情報を収集し、社会資源を取り入れたマネジメントを行う。
2	I IV	《2》 《3》	資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネジメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指す。 ② 総合支援事業に円滑に移行できるよう情報収集をすとともに、地域に必要なサービスの提案を行う。
3	II III	《1》	地域活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ① 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。 ② 地域サロン活動の支援・交流を行い、地域の実情を把握するとともに、施設の周知を行う。

各項目、ガリラヤ荘で取り組むシステムを継承した初年度整備を行う。

1.運営理念

『今、ここで生きている人々に寄り添うことを使命とする』

2.基本方針

- I 個別援助の徹底 …………… 個別ケアを大切にし、利用者が心豊かに生活することを目指す。
- II 地域包括ケアの推進 …………… 関係機関と連携し、在宅高齢者の生活支援とQOLの向上を目指す。
- III 地域福祉の推進 …………… 地域とともに歩み、地域の社会福祉資源としての施設創りを目指す。
- IV 職員の資質向上 …………… 自己研鑽に励み、成長を続けることを目指す。

3.重点目標

- 《1》平穩ケア(トータルケア)の実践により、穏やかな生活と介護予防支援の確立
 - 《2》利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作りだすケア(ハピネスオブライフ)の確立
 - 《3》利用者の状態、状況に合わせた対応ができるチームケアの確立
- 『目標稼働率(有料)91%』
『イベント企画と環境整備』
『研修運営と多職種協働システム』

4.重点目標に対する取り組み

No	基本方針	重点目標	取組事項	取組内容
1	I II III	《1》	トータルケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行う。 BPSDの悪化につながら、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践する。
2	I II III	《2》	イベント企画	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 積極的な外出支援、地域行事に参加ができる体制づくり。 介護予防につながるアクティブ活動を重視した、リハビリ活動の確立と、多種多様な余暇を企画する。
3	I	《2》	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 自立から要支援、要介護状態、それぞれのニーズを把握し、共用スペースの環境整備を行う。 介護が必要になってからも安心して生活できる環境整備と、専門スタッフ間での連携により、質の高い支援を行う。
4	IV	《3》	研修運営	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 年間計画に基づき、各種研修による職員の資質向上を目指す。 特に基礎介護勉強会及びOJTシステムを活用した育成環境の整備を行う。
5	I IV	《3》	多職種協働システム	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全部門〔共通目標〕 アセスメントチェックシート、総合記録シートを使用した記録を作成し、利用者の状態・状況を適切に把握できるシステムの構築 オペレーションシート(業務一覧表)を活用したチームケアの確立を行う。

平成29年度 会議・委員会

＜平成29年5月～平成30年4月末＞

【会議】《全体》

会議名	開催日	時間	参加者	内容
運営会議 (部長/課長)	第**週	**	理事長/施設長/各部長/各課長/各主任	カリヤマム米における業務に関する話し合い(提案・実施状況) 各部署連絡・報告
職員会議	5月9日 12日・3日	**	全職員	施設運営に関する職員間の情報の共有、職員研修

【会議】《部門》

部門	会議名	開催日	時間	責任者	参加者	内容
グループホーム	運営推進会議(※1)	5月1日・9日 11日・13日	**	管理者	施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの知見を有する人など	地域包括型グループホームの運営、初年度評価の進捗、向上を図る自己評価や外部評価結果の周知、目標達成計画のモニタリングとしての役割、地域や行政との連携、調整、情報交換と共有、事業の保証
	ケアカンファレンス	第**週	**	計画作成担当者	計画作成担当者、介護職、他(必要に応じて専門職)	各計画検討(介護・栄養・機能)
	ユニット会議	第**週	**	管理者 計画作成担当者	管理者、計画作成担当者、介護職、他	ユニットにおけるケアの検討・確認
	ケースカンファレンス (各困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部	各事例に合わせて	食事・認知症困難事例 入退院振返り等
外部	グループホーム交流会	年2～3回	**	管理者 計画作成担当者	管理者、計画作成担当者、介護職、他	近隣(小野久米地区)の他グループホームとの情報交換会
特養短期	運営推進会議(※2)	5月1日・9日 11日・13日	**	生活相談員 施設ケアマネ	施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの知見を有する人など	地域包括型グループホームの運営、初年度評価の進捗、向上を図る自己評価や外部評価結果の周知、目標達成計画のモニタリングとしての役割、地域や行政との連携、調整、情報交換と共有、事業の保証
	ケアカンファレンス	第**週	**	施設ケアマネ	施設ケアマネ、介護主任、看護主任、管理栄養士、機能訓練指導員、生活相談員、他	各計画検討(介護・栄養・機能)
	主任/リーダー会議	第**週	**	介護主任 生活相談員	介護主任、生活相談員、ユニットリーダー、看護主任、管理栄養士、機能訓練指導員、施設ケアマネ、他	実習受入推進委員会 口腔ケア検討会を兼ねる
	ユニット会議	第**週	**	ユニットリーダー	介護主任、ユニットリーダー、介護職、他	ユニットにおけるケアの検討・確認
介護付有料	ケースカンファレンス (各困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部	各事例に合わせて	食事・認知症困難事例 入退院振返り等
	ケアカンファレンス	第**週	**	計画作成担当者	計画作成担当者、生活相談員、介護職、看護職、他(必要に応じて専門職)	各計画検討(介護・栄養・機能)
	スタッフ会議	第**週	**	生活相談員	生活相談員、計画作成担当者、介護職、看護職、他	ユニットにおけるケアの検討・確認
	ケースカンファレンス (各困難事例検討)	随時	随時調整	生活支援部	各事例に合わせて	食事・認知症困難事例 入退院振返り等
通所	運営推進会議(※3)	9月3日	**	デイサービス主任	施設職員、利用者、利用者家族、地域住民代表(町内会長、民生委員等)、市職員、地域包括支援センター職員、地域密着型サービスの知見を有する人など	地域包括型グループホームの運営、初年度評価の進捗、向上を図る自己評価や外部評価結果の周知、目標達成計画のモニタリングとしての役割、地域や行政との連携、調整、情報交換と共有、事業の保証
	デイ会	第**週	**	デイサービス主任	デイ主任、デイ介護職、デイ看護職、居宅ケアマネ、他	デイサービスにおける業務・事例検討 職員研修
	週例会	第**週	**	居宅ケアマネ	デイ主任、デイ介護職、デイ看護職、居宅ケアマネ、他	多職種協働による事例検討
	地域ケア会議	**	**	**	介護保険関係情報、介護用品紹介等	
居宅支援	包括・在宅連絡会	**	**	**	**	地域高齢者の情報交換、連絡事項伝達
	介護ネットワーク	**	**	**	**	事業者間サービス実績確認、情報確認 研修、親睦会

(※1)2)運営推進会議については地域密着型サービスにおいて、必要な会議であるが、併設事業において一体運営可能(おおむね2か月に1回以上)。
(※3) “ (おおむね2か月に1回以上)

平成29年度 会議・委員会

<平成29年5月～平成30年4月末>

【委員会】

部門	会議名	開催日	時間	責任者	参加者	内容
全体	身体拘束虐待防止委員会	第1週	**	生活相談員	部長/課長/主任、各事業担当者	身体拘束・虐待防止の研修と事例検討
	衛生管理委員会 (メンタルヘルス委員会含)	第2週	**	看護主任 介護主任		感染予防の研修と発症時の対応と報告
	事故防止委員会	第2週	**	各ケアマネ 機能訓練指導員		事故報告の検討と再発防止対策
	栄養/給食委員会	第3週	**	管理栄養士		委託先業者を交えての給食に関する報告と検討
	褥瘡予防委員会	第4週	**	看護主任 介護主任		褥瘡予防の研修と予防・対応の検討
	人権擁護並びに苦情相談委員会	年10回以上 が1班各回	随時調整	各部長		利用者の権利擁護及び苦情申出に対し公正かつ適正に解決することを目的とする
	防火管理(消防訓練他)	年間4回	随時調整	防火管理者		救命講習と消防訓練の計画・実施
	在宅委員会	5月17日・9日 11月21日・9日	**	居宅管理者		在宅総合台記録シートの導入、困難事例の検討、おとこ塾・出前講座の企画及び調整
	入所判定委員会	3ヶ月1回	随時調整	生活相談員		特養入所判定基準に基づく入所者の検討
	特養					